

令和8年1月26日部長会議 会議録（要旨）

- ◇日時 令和8年1月26日（月） 午前9時00分から午前10時20分まで
◇場所 市役所第一庁舎5階 庁議室
◇出席者 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、保健所長、こども未来部長、環境部長、経済産業振興部長、観光文化部長、スポーツ部長、農林部長、建設部長、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育）、上下水道局長、消防局長、議会事務局長、危機管理防災監、政策調整監及び関係課職員

◇会議内容

<市長あいさつ>

- ・衆議院議員総選挙については、明日27日公示、来月8日投開票となった。
- ・非常に短期の選挙戦で選管中心に大変かと思うが、公平公正な選挙が行われるよう、全庁的な体制で願います。
- ・また、今回の解散により、国の新年度予算の3月末までの成立は困難な状況が見込まれる。国の予算成立が遅れることで、補助金を活用した事業などに影響がでる可能性があるため、選挙の動向、予算の関係など、今後の動向に注視してほしい。
- ・来月6日からミラノ・コルティナ冬季オリンピックが始まる。
- ・長野県勢からは、6名の選手が出場する。長野市に関係する選手もいるので、活躍を大いに期待している。職員の皆さんもぜひ、応援していただきたい。

1 協議事項

（1）令和8年度組織・機構の見直しについて（総務部）

標記事項について、総務部長から説明した。（資料1参照）

○質疑等なし

○今後の方向性

原案を了承

（2）善光寺御開帳準備に向けた庁内推進体制及び市の基本的な対応方針について（企画政策部・観光文化部）

標記事項について、政策調整監、観光文化部長から説明した。（資料2参照）

○質疑等なし

○今後の方向性

原案を了承

（3）「長野赤十字病院新病院の建設に関する包括基本協定」に係る協議について（保健福祉部）

標記事項について、保健福祉部長から説明した。（資料3参照）

○質疑等

[スポーツ部長] 現在の日赤の北側の駐車場と建物を解体後、市に貸付となっているが、市は先行して若里多目的広場の用地を日赤に貸し付けるのか、日赤の解体前に同時期での貸付となるのか。また現在、若里多目的広場の一部を日赤に貸している貸付料がスポーツ部

の財源となっているが、この扱いが今後どうなるのか。

[保健福祉部長] 貸し付けの時期は、まだ調整できていない。スポーツ部の現在の貸付についても、今後、調整する。

○今後の方向性

原案を了承

(4) 中部勤労青少年ホームの廃止及び後利用について (経済産業振興部)

標記事項について、経済産業振興部長から説明した。(資料4参照)

○質疑等なし

○今後の方向性

原案を了承

(5) 新たな産業団地開発について (経済産業振興部)

標記事項について、経済産業振興部長から説明した。(資料5参照)

○質疑等

[農林部長] (補足説明) 今年度から荒廃農地防止、新たな担い手確保のため、新たな補助制度を創設し、農業参入企業を誘致するため県内外の企業に営業をかけている。その中で、県内の大手農業法人が上駒沢地区に農業参入を希望していることから、地権者、耕作者の意向を踏まえ、農業を起点に関連産業を呼び込むモデル地区を目指して、経済産業振興部と連携し、今後、進めていきたい。その企業からは観光農園(いちご・シイタケ)によりすぐにでも参入したいという意向を確認している。農地の規模としては1~2ヘクタールからスタートするため、基盤整備などは必要なく進められる可能性があり、短期的に事業化が見込めると考えている。この上駒沢地区は、高速道路から善光寺、飯綱、戸隠観光などの通過点に位置し、誘客が見込めるとともに、市が進めている長野市産ヘーゼルナッツ発祥の地ということもあり、栽培とともに加工工場などの誘致も適切と考えている。これらの状況や地権者の意見を踏まえ、経済産業振興部と連携して進めていきたい。

[経済産業振興部] 今回は、5年で60ヘクタールという開発の目標がある中で、最初に取りかかるエリアを決めていきたいということで、他の順位についてはあくまでも現在の状況である。準備や条件が整い次第、進めていきたいので協力をお願いします。

○今後の方向性

原案を了承

(6) 特定公共賃貸住宅の用途廃止及び定住促進住宅への移行について (建設部)

標記事項について、建設部長から説明した。(資料6参照)

○質疑等なし

○今後の方向性

原案を了承

2 一括議論・一括承認事項

(1) 地方独立行政法人長野市民病院第4期中期計画の認可について (保健福祉部)

標記事項について、保健福祉部長の説明省略。(資料7参照)

○質疑等なし

○今後の方向性

原案を了承

3 その他

(1) 市議会提出議案の市ホームページへの掲載について（総務部）

標記事項について、総務部長から説明した。（資料8参照）

○質疑等なし

(2) 窓口開庁時間の見直しに向けての庁内調査の実施について（総務部）

標記事項について、総務部長から説明した。（資料9参照）

○質疑等

[副市長] 窓口開庁時間の短縮は、長野県市長会の副市長・総務担当部長会議において報告事項として情報共有、意見交換した。どこの市もこの方向で進めていく必要があるという認識で一致している。県が昨年11月から、松本市が今月から試行中で、短縮後の窓口開庁時間以外の時間に全く窓口対応を行わないわけではなく、ケースバイケースで対応しているとのことである。

県と松本市は、この開庁時間短縮とセットでカスタマーハラスメント対策も行っている。長野市も以前からカスハラを受けているといった話はあった。本年1月から電話交換業務を外部委託して専門性を高めているが、カスハラ対策の面も強化が必要である。また、電話機の録音機能については、県や松本市で導入しており、導入前はカスハラに該当するような電話が多かったが、導入後はそうした電話が減り、即効性があったとも聞いている。窓口の対応もカスハラにあたるような場合は必ず職員2人で対応するなど、全庁一丸となった組織的な対応が働く職員を守るとの話もあった。それらも参考にして進めていければと思う。

[総務部長] 副市長・総務担当部長会議で県内市の窓口開庁時間を短縮する方向性が確認されているということでもあるので、職員のフレックスタイムや、先進地で導入が始まっている週休3日制など、全体を見ながら効果が出るよう職員の働き方改革推進の視点からも取り組んでいきたい。

(3) 松代文化施設に関するサウンディング型市場調査の結果報告について（観光文化部）

標記事項について、観光文化部長から説明した。（資料10参照）

○質疑

[農林部長]（意見）施設が素晴らしくなる事はすごくありがたいが、そこで事業主体、誰が運営していくのかが非常に重要である。松代にはエコール・ド・まつしろやNPO法人などの団体もある。もちろん、新しい動きもあるし、いいものがたくさんある場所だと思う。今後、施設とともに、そこでどんな人材がどう動くのかも合わせて考え、進めていただきたい。

[観光文化部長] プレイヤーが一番大事だと思うので。その辺も加味しながら進めたい。

[最後に市長]

- ・2期目に入り、公約の中には、それぞれの部局で力強く連携して進めていただきたい案件がたくさんあり、私の考えをお伝えする。
- ・市長の基本政策に係るプロジェクトの推進ということで、4つのテーマ、9つのプロジェクトを掲げた。
- ・これまでも部局連携は強めに話してきたが、今後は特に9つのプロジェクトを中心に進めていきたい。
- ・年始の挨拶でも話したが、私が常に心に留めている「現状維持は衰退、前例踏襲は怠慢」そういった気持ちで公約や9つのプロジェクトを進めていきたい。
- ・目標や期間が決まっているものについては、そこに向かって逆算して準備を始め、その

期間に達成できるよう、今の物価高騰や資材高騰、人手不足などへの対応を理屈にして事業を先送りすることは絶対にしないつもりである。

- 非常に困難な場合もあろうかと思うが、しっかり取り組んでほしい。
- また、9つのプロジェクトを推進するに当たり、皆さんと一緒に今後の方向性を議論したい。
- 私と副市長とそれぞれ担当する部局長や関係部局長と話をできたらと考えているので準備をお願いします。
- これまでも話してきたように市役所が1つのチームとして一丸となって市民の皆様のお役に立てるよう、あるいは市民の期待を超えるような、そういう結果を出していきたいと考えているのでよろしくをお願いします。

以上